

3

A long time ago, there was an Emperor who loved to dress up.

He collected exotic clothes from all over the world. He changed his outfits again and again every day, and showed them off to his followers and soldiers.

One day, a man calling himself a tailor visited the Emperor.

Actually, this man was a wanted.



5

"Your Highness, I've brought a cloth so divine that it cannot be seen by fools, but only those worthy of its grace."

"What! A cloth that cannot be seen by fools? I want to see it. Show me!"

The man opened his bag, took the imaginary cloth out of it, and presented it to the Emperor.





むかし あるくくに、  
おしゃれが だいすきな おうさまがいました。

せかいじゅうから めずらしい ふくを とりよせて、  
まいにち なんども ふくを きがえては、  
おしろの けらいや へいしたちに  
みせびらかしていました。

あるひ、そんな おうさまの もとに、  
したてやを なのる ひとりの おとこが  
やってきました。

じつは この おとこは、  
おたずねものの さぎしでした。



「おうさま、わたくしは  
『おろかものには みえない ふく』  
というものを もってきました」  
「なんだと！ほんとうに そんな ふくが あるのか。  
ぜひ みてみたい！」

おとこは かばんを あけ、  
なかから そのふくを とりだして、  
そのばで ひろげてみせました。

